

第47回 岡山県本部総会報告

2015年 7月12日 守る会岡山県本部

1. 開催日時 2015年 7月 5日(日) 9時30分～11時30分
2. 開催場所 ゆのこう美春閣 2階「ホール満点星」
〒707-0061 岡山県美作市中山奥湯郷1144
3. 出席者全体 42名
内訳 守る会会員 40名(内被害者 40名)
その他 2名(来賓 2名)

4. 来 賓

- ①岡山県救済対策委員長 井上慶朗
- ②森永乳業(株)渉外部中国事務所長 碓 宏之

5. 祝電・メッセージ

- ①ひかり協会理事長 遠藤 明
- ②守る会全国本部理事長 桑田正彦
- ③岡山県知事 伊原木隆太
- ④岡山県議会議長 小野泰弘
- ⑤岡山市議会議長 宮武 博
- ⑥倉敷市保健所所長 吉岡明彦
- ⑦岡山県民主医療機関連合会会長 高橋 淳
- ⑧障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会 吉田裕美

6. 新役員

- 委員長 森脇良明
副委員長 徳田和夫、真田博美(財政担当兼務)、吉田康子
事務局長 春木範子
常任委員 岡 孝治、南早百合、平松邦夫、広瀬成尚、河本尚子、入江 弘
牛房紀晃、堀 達人、新谷 泉、山根一郎、山元一生
監 事 間嶋郁子、山本あけみ

7. 議案に対しての主な質問・意見、答弁の内容

(発言)・・・備中支部 平松代議員
・対策対象者名簿に名前を載せる取り組みは、厚生労働省が力を入れて作った道すじであり、この仕組みをしっかりと活用していくことが事が大切であると考えます。委員長は、冒頭のあいさつで「健康相談に行かれたらどうですか」とひとつとどのように言ったが、自ら率先して活用してもらいたいし、常任委員、協力員の皆さんもどんどん活用していただきたいと思えます。

(回答)・・・森脇
・他人事のようなあいさつをして、すみませんでした。健康被害者にも各自治体に相談窓口ができたことは、たいへんありがたいと思っています。私はまだ行っていませんが、相談窓口である矢掛健康管理センタにはトレーニングルームがあり、協力員の方も1名利用されているようです。健康診断の問い合わせを兼ねて訪ねてみようと思っています。皆さんも是非活用ください。

(発言)・・・備中支部 平松代議員
・重い障害をもつ被害者の恒久救済について考えたとき、守る会という組織がいつまで存続できるかという問題があります。会社も厚生省(厚生労働省)も三者会談確認書調印以降は、真摯に42年間その義務を誠実に履行してきました。そしてその実績が評価され、ひかり協会理事会に会社役員が入っています。親たちの想いを引き継いだ今、守る会が被害者に真摯に向かい合い、あらゆる力を結集し、一度しかない被害者の人生の救済対策を講じていくためには、とっぴな考えかもしれませんが、会社・厚生労働省の代表に守る会にも、顧問とか相談員として入ってもらい、会社や厚生労働省の持っているノウハウを、守る会の取り組みに生かしてはどうかと考えます。

(回答)・・・森脇
・守る会の存続問題についての答弁はひかえませんが、出された意見は、守る会本部に機会をみて反映します。

(発言)・・・備中支部 田中代議員
・2015年予算案の支出項目の中に、B会議がありますが、この会議の内容を説明して欲しい。

(回答)・・・真田
・ブロック会議は、守る会の広島県本部・山口県本部・山陰本部・岡山県本部の委員長・事務局長と全国本部の四役・常任理事で構成し、全国総会の議案討議を主な議題として毎年開催しており、広島、岡山と交互に場所を変えて実施しています。本年は岡山で開催したので、傍聴者として岡山から副委員長(1名)も参加しました。

(発言)・・・美作支部 岡代議員
・救済事業協力員の中に休止中の協力員がおられるが、今後どう対応するのか説明して欲しい。

(回答)・・・森脇
・仕事の都合や家庭の都合で休止されている協力員がおられます。せっかくなっていたいただいた協力員、辞めていただきたくないので、二者懇談会で論議し、休止ちゅうでも、時々連絡とを取り合い、機会をみて1件でも「呼びかけをしてもらえないか?」と粘り強く対応します。

(発言)・・・美作支部 岡代議員

・支部活動について、活発に取り組む必要があると思うが今後の取り組み方について説明して欲しい。

(回答)・・・森脇

・昨年は、60年記念行事の取り組みに全力を投入したため、残念ながら支部活動ができませんでした。60年記念行事で放映したDVDを活用して、今年度は計画しますので、皆様のご協力をお願いします。

(発言)・・・美作支部 岡代議員

・会員拡大について、本部はアンケート①被害者の50%を目標にしているが、岡山県本部は40%と控えめな目標にしている。守る会の発症の地でもあり、50%とした方がよいと思うが考え方について説明して欲しい。

(回答)・・・森脇

・1年間で、到底達成できない大きな目標を掲げても達成できないという安易な考えから、本部の拡大目標は理解しておりますが、当面の目標として設定しています。今年も交流会の案内に同封した、入会呼びかけで7名の方が加入されましたので報告します。呼びかけ活動や、交流会・健康懇談会・自主的グループ活動等を活用し会員拡大を図りたいと思いますので、ご協力をお願いします。

(発言)・・・美作支部 岡代議員

・昨年開催した60年記念行事で上映したDVDの活用方法について、説明して欲しい。

(回答)・・・森脇

・昨年60年記念行事について入会を促す取り組みを終え、達成感を感じてほしい。又支部会議などで活用を図っていきたいと思います。

(発言)・・・美作支部 岡代議員

・予算案で活動費を27万計上しており、高野山の慈母観音・龍泉院参拝の援助金を計上していると思うが、経費がどれくらいかかるのか。また、参加希望者は、本日申し込みできるのか説明して欲しい。

(回答)・・・森脇

・一人あたりの参加費は宿泊費を含め、約30,000円必要であるため、守る会としては、一人あたり10,000円程度援助したいと思っています。なお参加を希望される方は本日、申し込みをお受けします。(一人あたりの個人負担は、約20,000円)

(発言)・・・備前支部 入屋代議員

議案書に支部という表現と班という表現が混在しており、わかりにくいので説明して欲しい。

(回答)・・・森脇

・岡山県本部は、備前支部・備中支部・美作支部の3支部で構成しており、現在班組織はありません。議案集に班と記載している箇所は誤りですので、申し訳ありませんが訂正ください。

(発言)・・・備前支部 入屋代議員

・予算案の収入の部援助金を昨年の予算案と比較すると、約24万円ほど少なくなっているが、その理由について説明して欲しい。

(回答)・・・真田

・援助金については、全国総会など全国本部が主催する会議等の旅費を本部から受け入れる科目です。昨年度の全国総会は、京都市で行われたため、本年度(岡山市開催)は、昨年度に比較して約24万円減少しています。

(発言)・・・備前支部 入屋代議員

・今後年を重ねると認知症について関心も持つし、心配になってきます。守る会の行事、協会の行事を通じて認知症の問題をテーマにした取り組みを検討ください。

(回答)・・・森脇

・備中支部では、健康懇談会で認知症を取り上げ、講話を聞き討論する取り組みを計画しています。今回の意見を踏まえ、二者懇談会で協会に要望します。

(発言)・・・備前支部 岡本代議員

・高野山の慈母観音・龍泉院参拝に参加する個人負担について、詳細に説明して欲しい。

(回答)・・・春木

・バス代金を守る会で負担します。個人負担は、宿泊代金(約15,000円)・カラオケ代金の人数割分・昼食代金(2回分)で一人あたり2万円程度になります。

8. 主な活動方針での提案

①厚生労働省通知の改正に伴う名簿登載の取り組みについて、事件の風化を防止するとともに、高齢化に備え健康を守り、困ったとき行政サービスを利用しやすくするために、多くの方が名簿登載に同意されるよう、昨年に引き続き守る会としても積極的に取り組む事の周知と協力依頼を行った。

②救済事業協力員活動について、昨年開催された「全国協力員研修会議」で発表された感動した活動報告の紹介と、基調講演で専門家の先生から、活動の中でたくさんの涙と喜びを経験し、誇りをもって活動してくださいと激励された内容を報告し、協力員同士横のつながりも大切にし、連帯して健康を守るネットワークづくりが進むよう取り組む事への協力依頼を行った。

